

フィールドウォッチング「春の立山・雪の大谷」

2016年5月8日（日）

毎年恒例の、立山室堂平の雪の壁を訪れる観察会を行いました。今年の雪の壁の高さは13m。平均値の16mと比べるとだいぶ低い値で、立山の上部でも今冬の積雪量がたいへん少なかったことがわかります。最初に、立山自然保護センター前の「雪の回廊」で今年の積雪の概要を観察し、そこで得た情報をもとに雪の大谷「雪の壁」に向かいました。少ないとはいえ高さ10mをこえる雪の壁の迫力に、参加者の皆さんは大満足でした。雪の壁は、近年、外国人にたいへんな人気を誇っていて、当日も外国人の姿が多く見られました。午後は、ミクリガ池を一周して、地獄谷や山崎圏谷を見学し、ライチョウにも出会うことができました。

